

肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について
【令和4年1月分】

令和4年1月に販売された交付対象牛の補填金単価（概算払）については、下記のとおりです。

なお、交付金単価の確定値については、令和4年5月上旬に公表する予定です。

記

(円/頭)

	肉専用種 (ブロック算定)	交雑種 (全国算定)	乳用種 (全国算定)
暫定交付金単価	0.0	0.0	51,274.8
概算払単価	0.0	0.0	45,274.8

注1：交付金について、月毎に支払う方式としています。

注2：販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。精算払については、四半期の最終月の交付金交付とあわせて行います。

注3：概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より6,000円/頭を控除した額としています。

注4：交付金交付額に見合う財源が不足する場合等、生産者負担金額を増額することがあります。

注5：平成26年度より、消費税抜きで算定しています。

注6：交雑種及び乳用種の交付金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記ホームページで公表します。

注7：令和2年4月～令和3年5月までの生産者負担金納付猶予された対象牛は上記単価の3/4の国庫分となります。

https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html

連絡先

価格安定課

担当：大森

電話：097-545-6594

(参考)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【令和4年1月】※ブロック算定

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,233,060
生産コスト (B)	1,087,468
差額 (C) = (A) - (B)	145,592
暫定交付金単価 (D) = (C) × 0.9	—
暫定交付金単価 (概算払) (D) - 6,000	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,233,060
主産物価格 ① = a × b	1,223,508
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,418
枝肉重量 (kg) b	506
副産物価格 ②	9,552
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,087,468
物財費 ③	989,662
もと畜費	613,907
飼料費	303,010
流通飼料費	300,889
麦類	8,110
とうもろこし	3,675
ふすま	5,108
かす類	6,445
配合飼料 (暫定値)	230,844
稻わら	20,838
その他	25,869
牧草・放牧・採草費	2,121
敷料費	11,865
光熱水料及び動力費	12,281
その他の諸材料費	312
獣医師料及び医薬品費	9,268
賃借料及び料金	5,991
物件税及び公課諸負担	5,543
建物費	11,231
自動車費	5,652
農機具費	8,990
生産管理費	1,612
労働費 ④	71,768
家族	63,086
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,061,430
支払利子 ⑥	15,067
支払地代 ⑦	410
と畜経費 ⑧	10,561

注：消費税抜きで算定

(参考)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

九州ブロック区域から肉用牛が出荷された出荷市場（農林水産省大臣官房統計部）から牛枝肉取引価格が公表されている25か所の卸売市場及び食肉センター等であって、機構が提供を受けた出荷市場及び食肉センター等における九州ブロック区域に係る牛枝肉取引データと九州ブロック区域に所属する各県の相対取引データ等をもとに算定しています。

【本県が算定に用いる卸売市場】

大阪中央卸売市場、福岡市中央卸売市場

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

豊後玖珠市場、豊後豊肥市場、熊本県畜産農業協同組合（熊本県家畜市場）、曾於中央家畜市場、全農岩手県本部中央家畜市場、今帰仁家畜市場、球磨家畜市場、天草畜産農業協同組合（天草家畜市場）、小林地域家畜市場、高千穂地区家畜市場（高千穂地区農協畜産部）、山口中央家畜市場、都城地域家畜市場、県南家畜市場、延岡家畜市場（東臼杵郡市畜産農業協同組合連合会）、児湯地域家畜市場、南部家畜市場、宮崎中央農業協同組合家畜市場（宮崎中央農協畜産部）、肝属中央家畜市場、薩摩中央家畜市場、始良中央家畜市場、全農徳島県本部上板畜産センター、鳥取県中央家畜市場、豊後北部市場